



令和7年12月15日 松浦

～未来を担う中学生が「これからのすみだ」について提案～

区内中学生を代表する20名による 「中学生区議会」が開催されました

区では12月12日(金)に、32回目の開催となる「令和7年度 墨田区中学生区議会」を開会しました。

中学生区議会は、平成6年度から行われている事業で、未来の墨田区を担う区内の中学生が、区議会を模擬体験し、「主権者」としての意識や郷土への愛着や関心を深めることを目的として開催しています。この取組で出た生徒たちからの提案をきっかけに実現した事業もあるなど、若者の区政参加を促進する重要な事業の一つとなっています。

今年6月には、区立中学校10校の代表として各校2名、総勢20名の「中学生議員」が選出されました。事前に動画を活用した研修を受講し、区の取組や方針、議会制度について理解を深め、友人や家族などに「区に実現してほしいこと」などを聞き取り、政策提案に活かしました。

今年の中学生区議会では、「豊かな感性が磨かれる」「あたたかいおせっかいがめぐる」「安全で心地よい暮らしがある」の3つをテーマとして、本会議と委員会それぞれで、中学生議員が質問を行いました。本会議では、20名の中から3名が「高齢者や障害を持つ人が参加できるスポーツ体験会の実施・充実」、「がんについて、学校での実感性のある授業の実施、広報紙の作成」、「町会・自治体への若年層加入促進の啓発として、中学校でのポスター・コンクール実施やイベント開催」といった内容について区長に対して代表質問を行いました。それぞれが考えた質問や提案について、区長も真剣な表情でメモを取りながら答弁を行いました。

また委員会では、上記の3つのテーマについて区の幹部職員に対して質問を行い、出席した20名の中学生議員全員から、区の未来を考えた提案が多数挙がりました。

今回、議長を務めた桜堤中学校の西埜議員は、今回の中学生区議会を振り返って「中学生の中でたった一人、たった一度しかない貴重な経験だった。区の政治の仕組み、区民の方々や区議会議員の方々がどんな仕事をしているのか分かった。」と話しました。

区では、今後も継続して地域の子どもたちの意見を取り入れる区政運営を推進していきます。

《写真》①本会議の様子(12/12撮影)



②委員会の様子(12/12撮影)



《概要》令和7度 墨田区中学生区議会について

日時：令和7年12月12日(金) 14:00～16:30

会場：墨田区議会 本会議場 ほか(墨田区吾妻橋1-23-20)

出席者：中学生議員20名(各校2名×10校)、区長、副区長、教育長、区議会議長など

《詳細》代表質問について

【テーマ】豊かな感性が磨かれる

■高齢者や障害者が参加できるスポーツ体験会の実施・充実

質問者：寺島中学校2年 小林 季音莉（こばやし きとり）

内容：年齢や性別、障害の有無に関わらずスポーツができる環境づくりのため、区や町会を主催として高齢者施設や特別支援学級・施設などでのスポーツ体験会を開催する。

【テーマ】あたたかいおせっかいがめぐる

■町会・自治会への若年層加入促進に向けた提案

質問者：桜堤中学校2年 小出 健吾（こいで けんご）

内容：がんについて認知を深められるイベントの開催、広報誌の発行や、がん検診のさらなる充実を行い、がんの早期発見・早期治療につなげる。

【テーマ】安全で心地よい暮らしがある

■町会・自治会への若年層加入促進に向けた提案

質問者：吾嬬立花中学校2年 山本 安珠（やまもと あんじゅ）

内容：町会・自治体への加入促進ポスター・コンクールやイベントを開催し、町会・自治会の周知と若年層の加入率を増加させる。

《お問合せ》広報広聴担当（広聴・区政情報担当） TEL 03-5608-6930

※ お問合せは午後5時までにお願いします。（広報広聴担当（報道担当） TEL 03-5608-6220）